

平成31年1月23日
国土交通省 東北地方整備局
仙台港湾空港技術調査事務所

平成30年度 民間技術発表会(第2回)を開催します

仙台港湾空港技術調査事務所では、民間事業者が開発した新技術等を東北の港湾・空港整備に有効活用することを目的に、職員と民間事業者の方との意見交換の場として、民間技術発表会を開催します。

当発表会は、平成16年度から開催しており、これまでに延べ164の技術が発表されております。

今回、以下の5つの技術を発表しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時:平成31年2月1日(金)13時30分～16時00分(受付開始:13時から)

2. 開催場所:国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
(仙台市青葉区本町3-1-1 仙台合同庁舎B棟9F)

3. 発表論題

1) Re-Pier工法

既設栈橋の耐震補強や延命化、増深化を目的に、鋼管杭を補強部材(伸縮ストラット部材)で連結して栈橋全体を補強する工法。上部工を撤去せずに既設栈橋の補強が可能。

2) 遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」

現場と現場事務所とが遠隔に位置する港湾工事の施工管理において、ICTを活用し、映像、音声と電子データをもとに、双方でリアルタイムに情報共有が可能な遠隔現場支援システム。

3) ジオドレーンSPD工法

軟弱地盤の圧密促進を目的とした真空圧密工法の1種。環境配慮型の材料を用いることが可能で、盛土不要と併せて環境に優しい工法。

4) 栈橋施工を対象としたCIMの導入

国土交通省の推進するCIMの取り組みの中で、3次元モデルを中心に業務や工事の合理化を進めており、将来的には建設プロセス全体の生産性向上が期待されている。今回は、施工業者の立場から港湾工事におけるCIMの取り組みについて紹介する。

5) クレーンカメラ映像検知システム

港湾工事におけるクレーン作業で、クレーンの吊り荷付近で作業する作業員をクレーンカメラの映像から検出し、クレーン操縦者に吊り荷と作業員の接近を通知するシステム。

4. 発表要領

発表時間は1技術あたり25分程度

<発表記者会:宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-1-35 三共仙台東ビル7F

副 所 長 工 藤 昭 光

技術開発課長 菅 原 豊 明 電話 022-791-2114